



私達は、住民の皆様が健康で安心して暮らせる地域づくりに貢献し、最も信頼され選ばれる病院をめざします。



JA北海道厚生連
北海道厚生農業協同組合連合会
北海道虻田郡倶知安町
北4条東1丁目2番地
電話：0136-22-1141
FAX：0136-21-4388

各診療科担当医のご案内（平成23年10月1日～）

曜日	月	火	水	木	金	受付時間
総合診療科	午前	田村 前沢	杉浦 森	高橋 矢崎	田村 井上 【隔週の為、診察日についてはお問い合わせ下さい】	8:00~11:00 (井上 9:30~11:00)
	午後	初診(担当医)	初診(担当医)	初診(担当医)	初診(担当医)	初診(担当医)
	午後	田村 (予約のみ)	佐々木 (血液)	井上 【隔週の為、診察日についてはお問い合わせ下さい】	桂 (呼吸器)	田村: 13:00~16:00 佐々木: 13:00~15:00
消化器科	午前	駒場	駒場	検査	川崎 検査	8:00~11:00(月・火・木) 13:00~14:00(火・木)
	午後	駒場 (検査)	駒場	検査	川崎 検査	9:00~11:00(予約のみ) 13:15~16:00(予約のみ)
循環器科	午前	出張医 10:00~	出張医 10:00~	出張医	長井 (再来のみ)	水木金 8:00~11:00
	午後	出張医	検査 出張医	検査	休診	月曜 13:00~16:00 火曜 13:00~16:00
呼吸器科	午前	休診	休診	出張医 第1のみ (詳細指示致します)	休診	8:00~11:00
神経内科	午後	休診	休診	出張医 (完全予約制)	休診	13:00~15:00
小児科	午前	奥野	豊川	奥野	豊川	8:00~11:00
	午後	豊川	町村の乳検等	町村の乳検等	奥野	13:00~15:30 (月・金曜日)
外科	午前	高橋(予約のみ) 担当医 (断患・再来のみ)	山下	山下	高橋(予約のみ) 山下	8:00~11:00 8:30~2名体制 血管内治療外来10:00~
	午後	手術・検査	手術	手術	手術	13:00~15:30 13:00~15:30 13:00~15:30
脳外科	午前	出張医	休診	休診	出張医	9:30~11:00
心外	午後	出張医	休診	休診	出張医 第1第3のみ	12:30~13:30
整形外科	午前	九津見 田辺 松本	田辺 松本	九津見 須藤(背柱) 田辺	九津見 遠山(膝) 松本	8:00~11:00 火曜日午前の出張医は 第1・第3・第5のみ
	午後	検査・手術	午後外来	検査・手術	検査・手術	13:00~15:00 原則新患のみの受付
産婦人科	午前	出張医 杉山	出張医 杉山	出張医 杉山	出張医 杉山	8:00~11:00
皮膚科	午後	予約外来 助産師外来	予約外来 助産師外来	杉山(予約外来)	手術	14:00~16:00
泌尿器科	午前	休診	出張医	出張医	休診	8:00~11:00
	午後	出張医	出張医	休診	休診	13:00~15:00
耳鼻科	午前	高木	武藤 10:00~	出張医(第2のみ)	武藤	8:00~11:00 ※出張医は予約のみ (診察室は内科外来となります)
	午後	検査	手術	検査	藤井 14:00~16:00	13:50~15:30 ※木曜のみ
精神科	午前	休診	出張医	出張医	休診	13:00~15:30
	午後	休診	出張医	出張医	休診	13:00~15:30
麻酔科	午前	土田 手土	豊島 手土	土田	豊島	8:00~11:00
	午後	土田(新患)	豊島(新患)	豊島・手土(新患)	手土(新患)	14:00~15:00 (新患のみ)
麻酔科	午前	萩原	手術	小塚	萩原	8:00~11:00
	午後	手術	手術	手術	手術	8:00~11:00

*総合診療科 初診外来の担当医については毎日変更いたします
 *外 科 血管内治療外来は、毎週木・金曜日午前となります(予約のみ)
 *心臓血管外科 木曜日の「心臓血管外科」外来は、総合診療科外来での診察となります
 *精神神経科 ①施設外来…毎週火曜日午後(予約のみ)
 *精神神経科 ②新患予約…月・火・水(隔週のみ)・金 14:00~15:00(1日2名まで、完全予約制となります)
 *整形外科 ①毎日午前股関節検診 ②須藤(背柱)Dr → 第1・第3・第5水曜日のみ
 *呼吸器科 診察日時は内科及び受付窓口横の掲示版をご覧ください
 *麻酔科 火・木曜日の診察につきましてはお問い合わせ下さい
 *泌尿器科 腎臓内科は第2水曜日(出張医)となります(予約のみ)

編集後記

今年の夏も昨年ほどではありませんでしたが暑い日が続きました。皆さん熱中症対策は万全でしたか？そんな暑い夏だった8月が終わり9月に入って中旬を過ぎた頃から急に寒くなりました。また、朝夕の冷え込みが身に染みる季節でもあります。皆さんもどうか体調管理には十分お気をつけ下さい。

今回の院外広報誌の中でもご紹介しましたが、12月~3月にかけてインフルエンザが流行します。まずは、外から帰ってきたら「手洗い・うがい」を徹底しましょう。また、予防接種もインフルエンザが流行する前に接種しましょう。これから、羊蹄山麓地域にも「いつもの冬将軍」が到来します。雪や寒さに負けない元気なからだを維持するよう心がけていきましょう。(S. Y)

秋 第2号

JA北海道厚生連
倶知安厚生病院
院外広報誌

笑顔だより



目次

- こころの総合支援センター開設 P.1
- インフルエンザ予防対策
- 心臓血管ドックのご案内 P.2
- 産婦人科分娩体制・助産師外来 P.3
- 各診療案内 P.4

こころの総合支援センター開設



これからの精神疾患の治療は、精神症状の改善を目的とした旧来の治療に並行して、精神疾患を体験した患者様の安全な地域生活を支援することも大切な要素となります。当院では、病院全体の取組みとして、精神科医療の在り方を整備し、地域の実情と時代の要請に応じることのできる新たな拠点として、平成23年10月1日より「こころの総合支援センター」での活動を開始いたしました。

これまで入院中心であった治療スタイルから、地域生活の積極的な支援に大きく舵をきりました。病床は120床から60床に削減しています。当院周辺地域は、平成18年より精神障がい者ヘルパー事業が始まり、平成19年度からは、ピアサポーター(自らの疾患回復体験を活かし、地域生活を支援する人)事業も取り入れ、全国的にも有数の地域生活移行・支援の実践地域となっています。そしてさらに精神訪問看護師を手厚く配置し、デイケアのプログラムを再編、充実させました。こころの総合支援センターは、まさにそのセンター(中心)となる場所として開所しました。入院、外来、地域生活と生活環境が変わるたびに、連携が滞り患者様に多大な負担を強いていたことは、精神科医療の弱点でした。患者さんの人生が一つであり、その変化に応じて適切な支援提供する場として、このセンターがこれからその役割を果たしていくこととなります。センターの場所は、元の開放病棟(A-1病棟)のあったところです。デイケアが移設し、精神科訪問看護師、PSW(精神保健福祉士)の事務所を集約しています。これからの活動として、ピアサポーターの休憩室、地域生活支援会議のミーティングルーム、家族のための相談室、認知症、精神疾患などの住民向け研修会会場など多様な用途を考えています。将来的には、精神科外来も移設することも検討しています。心の健康に関する心配事がいっぺんに解決できる場所として、スタッフ一同力をつけていきたいと気持ちを新たに張り切っています。私たちは、精神疾患を体験した人が、地域(病院を含む)で安心して生活できる環境を提供することを考える精神神経科です。

精神神経科 診療部長兼主任医長 土田 正一郎

インフルエンザ予防対策



感染対策科 感染管理認定看護師 佐藤 純司

2009年に「新型インフルエンザ」として大流行したことは皆様もまだ記憶にあることでしょう。あれから約2年が経ち、現在は名称も変わりました。「インフルエンザ(H1N1)2009」となり季節性インフルエンザと同じ対策となりました。インフルエンザは12～3月に流行します。これは、温度が低く乾燥した冬には、空気中に漂っているウイルスが長生きできるからです。また、乾燥した冷たい空気でのどや鼻の粘膜が弱っています。これらが重なって流行しやすい時期となっています。

インフルエンザの特有の症状は次のとおりです。

- ◇急激な発症（突然の発熱）
- ◇38度以上の高熱と寒気
- ◇関節・筋肉痛
- ◇だるさ・疲れ

咳・鼻汁は遅れて発症する場合があります。インフルエンザから身を守る方法は自分の身を病気から守る機能（免疫）によって大きく左右されます。免疫を高めることは難しいですが、今ある免疫力（＝抵抗力）を低下させない工夫が必要です。これから日常生活でできる予防方法をいくつかご紹介させていただきます。

<予 防 方 法>

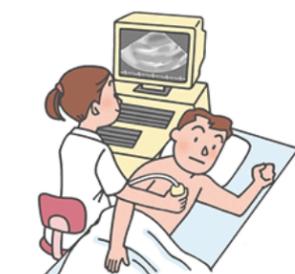
- 手洗いとうがいをを行う・・・手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。
- 咳エチケットを行う・・・咳・くしゃみがある方はマスク！手で覆ったら手洗いを行います。
- 予防接種を行う・・・予防接種後、2～3週間で抗体ができます。
- 栄養と休養を十分とる・・・体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。
- 人混みをさける・・・病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。
- 適度な温度・湿度を保つ・・・ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気を漂っています。加湿器などで室内の適度な湿度を保ちましょう。

心臓血管ドックのご案内

心臓病は日本人の病気別死亡率第2位を占め、その大半が動脈硬化が原因で発症する心筋梗塞です。もし発症した場合、緊急のカテーテル治療を受けていただく必要がありますが、この治療をできる施設は限られており、札幌などへの救急搬送を余儀なくされています。私たちの住む羊蹄山麓地域の病院では治療できないのです。

そうならないためにも・・・ぜひ”心臓血管ドック”をご利用ください。このドックは心筋梗塞のみならず、刺激伝導系異常や弁膜症、心筋症、心不全にいたるまで、ほぼ全ての心臓病の拾い上げに適した検査メニューとなっています。また、比較的ラクな検査ばかりですので、どうぞご安心ください。

スタッフ一同、当日のご来院をお待ちしています。



<心臓血管ドックの料金>
8,800円(税込)

特に次のような方に心臓血管ドックをおすすめします。

- ・糖尿病や高血圧、脂質異常症がある
- ・動悸や息切れ、胸痛などの症状がある
- ・肥満
- ・タバコをすう
- ・親・兄弟などに心臓病を患った人がいる
- ・以前に心臓病を指摘されたことがある
- ・血管や心臓の健康に自信がない

【主な検査項目】

- 血液検査
(BNP・LDL・HbA1c)
- 心電図検査
- 動脈硬化検査 (ABI・PWV)
- 胸部レントゲン
- 心エコー検査

ご予約・お問い合わせは、
倶知安厚生病院 健康推進課までご連絡ください。
0136-22-1141 (内線1980)

産婦人科分娩体制の充実について

当科は近隣の医療機関と連携し、地域の患者様に良質な産婦人科医療サービスを提供することを目的に産婦人科診療に取り組んでおります。

ここ数年、医師不足に伴い分娩制限を行わざるを得ない状況が続き、近隣住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、**平成23年4月より診療体制が整ったため、より多くの分娩を実施することが可能となりました**のご案内致します。

公的な医療機関の使命としてできるだけ多くの分娩を取り扱えるよう、これまで以上に産婦人科の医療の質並びに出産時の安全を図り、診療体制の充実・強化に努めて参ります。



助産師外来のご案内

助産師外来とは、助産師が担当する妊婦健診です。

当院では、平成21年6月より安心してマタニティライフを過ごし、自分らしいお産への準備ができるようにきめ細やかなサービスを提供するため、週1回助産師外来を開催してきました。年々助産師外来を希望される方も多いため、今年度8月より助産師外来の枠を週2回と広げていく事に致しました。妊娠中の不安や不快症状についてもゆっくり時間をかけて対応したいと思います。

外来日時	月曜日	火曜日
	13時～17時まで (定員4名)	14時～17時まで (定員3名)
対象	＊ 1人45分間 完全予約制 ＊ 妊婦一般健康受診表紙用可 正常な妊娠経過で医師が許可し、経過が順調で助産師による妊婦健診を希望される20週(月曜日)・27～29週(月・火曜日)・36週(火曜日)の妊婦となります。	
健診内容	検尿 血圧・体重測定 問診 胎児心音の聴取 超音波診断装置を用いて胎位と胎児心拍の確認(胎児の推定体重・性別は判断しません) 保健指導	

★助産師外来の健診では、産婦人科医は立会いませんが、異常が推定される場合やお薬の処方が必要な場合は医師の診察を受けて頂きます。

